

### 令和7年第7回定例会一般質問(12月3日)

亀谷 梢 議員

P5

- ① 空き教室の利用状況と活用方法について
- ② 学校・家庭・地域の連携協力推進事業について
- ③ 防災について

宮崎 匠 議員

P6

- ① 村指定緊急避難場所へのホテル等の事業所の追加指定について
- ② 各行政区版地域防災マップの作成及び各世帯への配布について
- ③ 更なる規制強化を踏まえたホテル等の建設に関する条例の厳格化について
- ④ 万座毛周辺活性化施設における観覧料の増額について
- ⑤ 無痛分娩への費用助成について

安里 周作 議員

P7

- ① 認定こども園開園に伴う健康福祉センター周辺の安全対策について
- ② さくらねこ(TNR)活動について
- ③ フリースクールについて
- ④ 農業振興基本計画の進捗状況について
- ⑤ 村内在住外国人について

喜納 正誠 議員

P8

- ① 漁業振興と海ぶどうの生産と今!
- ② 文化財普及事業について(山田城)
- ③ 観光立村 恩納とは!

新城 哲 議員

P9

- ① 安全・安心対策の拡充について
- ② 行財政改革の充実について
- ③ 財政基盤の強化について

### 令和7年第7回定例会一般質問(12月4日)

又吉 貢 議員

P10

- ① 不法投棄について
- ② 山田グスクについて
- ③ 前兼久漁港駐車場について
- ④ サステナビリティミュージックフェスについて

大城 節子 議員

P13

- ① ゆうなホールについて
- ② バス停留所の整備について
- ③ グリーン指導員について
- ④ 施政方針から文化の振興について

稲村 雅司 議員

P11

- ① サンゴの村宣言～世界一サンゴと人にやさしい村について
- ② 恩納村文化情報センターについて
- ③ 恩納村エコツーリズム推進協議会について

當山 直彦 議員

P14

- ① 障がい者の移動支援について
- ② 排水・し尿の処理の現状と今後の対応について
- ③ 資源循環型農業の推進とSDGs未来都市としての恩納村の取り組みについて

比嘉 秀康 議員

P12

- ① 障がい・高齢福祉事業所の地域福祉推進活動について
- ② 山田小学校内の学童施設の利便性について



### 令和8年第2回(3月)恩納村議会定例会

3月定例会は、3月4日(水)を予定しています。

お問い合わせ:議会事務局 ☎098-966-1199

### 空き教室の利用状況と活用方法について



質 恩納保育所の活用について計画されているか伺う。

答 福祉課長(石川司)

恩納保育所の活用計画は、子どもの居場所として、福祉課と教育委員会とで連携して、不登校児童生徒の居場所としての施設活用を協議・調整しているところです。十分な面積があることから併設して村内放課後児童デイサービスの施設としての活用も可能かどうか、村内事業所と引き続き意見交換、協議を行っていく予定です。

答 学校教育課長(親泊誠)

恩納村教育支援センターとして位置づけ、小中学校に登校できない児童生徒の居場所の確保と学習体験を保障し、義務教育終了後の進学・就労につなぎ、ひきこもり状態を防ぐことを目的とすることを考えて検討します。

質 安富祖幼稚園の現状と活用について、園舎や駐車場の管理はどのようにしているか伺う。

答 学校教育課長(親泊誠)

令和6年度より休園となり、現在は使用されていません。施設管理については、教育委員会で行っています。係のほうで適宜、適切な管理を行っていきたいと思います。駐車場は、主に観光協会のほうで活用が多いので、観光協会のほうに草刈りなどをお願いして管理していただいています。

質 安富祖校だけ地域連携室がないということですが、安富祖幼稚園を利用して設置できないか見解を伺う。

答 学校教育課長(親泊誠)

学校の意向を尊重したいと考えています。学校の要望としては、地域連携室として活用したいという意向がありました。必要な修繕改修を行い、活用を考えていきたいと思っています。

質 地域連携室の活用状況と、利用手続について伺う。

答 学校教育課長(親泊誠)

学校を地域の方々との連携を強めていく目的で設置されていると考えます。利用手続は学校へ電話での申込みの後、学校で手続を行う。利用状況ですが、学校運営協議会、PTA活動、

各種講座等の活用であります。

### 学校・家庭・地域の連携協力推進事業について

質 学校・家庭・地域の連携協力推進事業についての状況を伺う。

答 社会教育課長(仲村泰弘)

学校・家庭・地域の連携協力推進事業を進めるに当たり、学識経験者、学校経験者、社会教育関係者等で組織された学校支援地域本部運営委員会が設置されています。地域コーディネーターが主となり、学校の要望に沿ってボランティアの協力を得ながら、支援をしているところです。

質 コーディネーターの役割と現在行っている業務を伺う。

答 社会教育課長(仲村泰弘)

社会教育課に1名配置されています。主に学校の求めに応じ、職業人講話や調理・ものづくり体験授業などの学校教育活動へ地域の人材を紹介する業務のほか、担任の先生の授業立案・実施のサポートも行っています。児童生徒の地域理解、地元への愛着の育成に大きな役割を果たしているものと認識をしています。

質 コーディネーターの増員の必要性はないか見解を伺う。

答 社会教育課長(仲村泰弘) 近隣市町村では、各小中学校にそれぞれ1人ずつ地域コーディネーターが配置されている事例もあります。児童生徒の学びの支援を推進していくためにも増員を含めて、配置の在り方を検討しているところです。

### 防災について

質 村民の何日分の備蓄があるか伺う。

答 総務課長(宮平寛)

備蓄倉庫を9基設置しています。各備蓄倉庫の中には300名の3日分の食料と日用品を備蓄しており、今後備蓄計画に定めた目標に向けて、整備していく計画をしています。

質 海に面している小学校に対して、防災グッズとして、ライフジャケットの備えの必要性はないか見解を伺う。

答 学校教育課長(親泊誠)

地震直後や津波警報時には、ライフジャケットを着用することよりも迅速な避難を最優先に行うことが重要と考えており、ライフジャケットの備えについては、慎重に検討すべき事項であり、恩納村として現時点では想定していません。